

ライオンとネズミ

ライオンが、昼寝をしていました。

そこへネズミが来てライオンの背中へ登り、ちょろちょろ走りました。

ライオンは目を覚まし、ネズミを捕まえて食べようと思いました。

「お助けください。こんな小さなネズミなんておいしくありません。わたしを許してくださったら、いつか必ず、あなたのお役に立ちますから。」

ネズミは震えながら、一生懸命に頼みました。

「・・・わかった。いいだろう。」

ライオンはネズミがかわいそうになり、放してあげました。

数日後、ライオンは猟師に捕まってしまいました。

丈夫なロープの首輪をつけられて、ライオンは逃げる事が出来ません。

(ああ、わたしの人生もこれで終わりだ。)

ライオンがガッカリしていると、あの時のネズミがやって来て、歯でロープを切って、ライオンを助け出してくれました。

「ありがとう。おかげで助かった。」

ライオンはネズミにお礼を言い、それから仲良く暮らしました。



ライオンとねずみ。
ライオンとネズミ。



ライオンが、
ライオンが、



ひるねをしていまました。
昼寝をしていました。



そこへ
そこへ



ねずみがきて
ネズミが来て



ライオンのせなかへのぼり、
ライオンの背中へ登り、



ちよろちよろはしりました。
ちよろちよろ走りました。



ライオンは
ライオンは



めをさまし、
目を覚まし、



ねずみをつかまえて
ネズミを捕まえて



たべようとしました。
食べようとした。



おたすけください。
お助けください。



こんなちいさなねずみなんて
こんな小さなネズミなんて



おいしくありません。
おいしくありません。



わたしをゆるしてくださつらら、
わたしを許してくださったら、



いつかかならず、
いつか必ず、



あなたのおやくにたちますから。
あなたのお役に立ちますから。



ねずみはふるえながら、
ネズミは震えながら、



いっしょうけんめいにたのみました。
一生懸命に頼みました。



わかつた、
わかった。



いいだらう。
いいだろう。



ライオンは
ライオンは



ねずみがかわい^{そう}になり、
ネズミがかわい^{そう}になり、



は^なしてあげ^{まし}た。
放してあげました。



すうじつご、
数日後、



ライオンは
ライオンは



り^{ょう}しにつかま^ってしま^いまし^た。
獵師に捕ま^ってしま^いました。



じょうぶな^{ロープ}のくびわをつ^けら^れて、
丈夫なロープの首輪をつ^けら^れて、



ライオンは
ライオンは



に^げることができ^{ませ}ん。
逃げる事が出来ません。



あ^あ、
ああ、



わたしの^{じん}せいも
わたしの人生も



これ^でおわり^だ。
これで終わりだ。



ライオンが
ライオンが



が^つかりし^ていると、
ガツカリしていると、



あ^のと^きのねず^みがや^って^きて、
あの時のネズミがや^って^きて、



は^でロー^プを^きって、
歯でロープを切^って、



ライ^{オン}をた^すけ^だして^くれ^まし^た。
ライオンを助け出^して^くれ^まし^た。



あ^りが^とう。
ありがとう。



お^かげ^でた^すか^った。
おかげで助^かっ^た。



ライオンは
ライオンは



ね^ずみ^にお^れい^をい^い、
ネズミにお礼^をを^いい、



そ^れか^ら
それから



な^かよ^くく^らし^まし^た。
仲良^く暮^らし^まし^た。